

令和3年度 学校関係者評価

令和4年 3月24日

長崎県立諫早東高等学校

- 1 評価者 令和3年度学校評議員(3名)
- 2 評価形態 感染症対策により、3月初旬に評議員会を书面開催。評価は資料を閲覧後。書面で集約。

学校評議員の評価に係る報告書

学校評議員への 諮問内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 年度テーマ ● ボランティア活動 ● 部活動成績 ● 生徒指導関係 ● 進路指導関係 ● 施設設備一覧 ● 服務規律報告 ● 保護者・生徒アンケート集約 ● 通級研修資料「EAST COMPASS」1～10号
学校評議員から の意見・助言等	<ul style="list-style-type: none"> ● コロナ対応で大変な中、様々に工夫して活動が行われていることが素晴らしい。 ● テレビや新聞で沢山広報がされていて、楽しみである。 ● コロナ禍の中でリモートやICT授業に積極的に取り組んでいる。 ● 進学実績が向上し、先生方と生徒の頑張りが反映されていると思う。 ● 今年も地元就職者の割合が多く、地域の要望に応じていると思う。 ● 早くコロナが収束し、健全育成会などが中心になって生徒達と地元が一緒になるボランティアが実行できるようにしたい。 ● 総合的な探究などで、社会参加に取り組み、あらゆる世代の多くの人間と関わりを持つ機会は、今後も貴重な体験になると思う。また、そのことを通じて生徒の人間性が大きく成長すると期待します。 ● 通級の導入は生徒を救うと思います。 ● 出身中学校を訪れて高校生が行う、高校説明会の中止が残念であった
対 応 等	<ul style="list-style-type: none"> ● ふるさと探究はこれからも深化させて継続するが、生徒の発表の場を増やしたい。 ● 生徒確保に向けて、現行の広報以外にも積極的に中学校へ赴いて本校の魅力を中学生に伝える工夫をする。 ● 通級の本格実施で、対象生徒が成長することでその効果が生徒の将来に資するよう、全職員が研鑽を積んでいきたい。 ● ボランティアやインターンシップを始めとする地域交流や研修は、感染状況を勘案しつつ次年度は十分に実施できるようにする。 ● 次年度の創立40周年を活用し、生徒・OB・地域・中学生を巻き込んだ、活力を感じる学校運営や行事の実施を行う。